

個人投資家向けIR説明会

エクシオグループ株式会社 証券コード：1951

2024.12.20



1. 会社紹介

(1) 会社概要（2024.3.31時点）

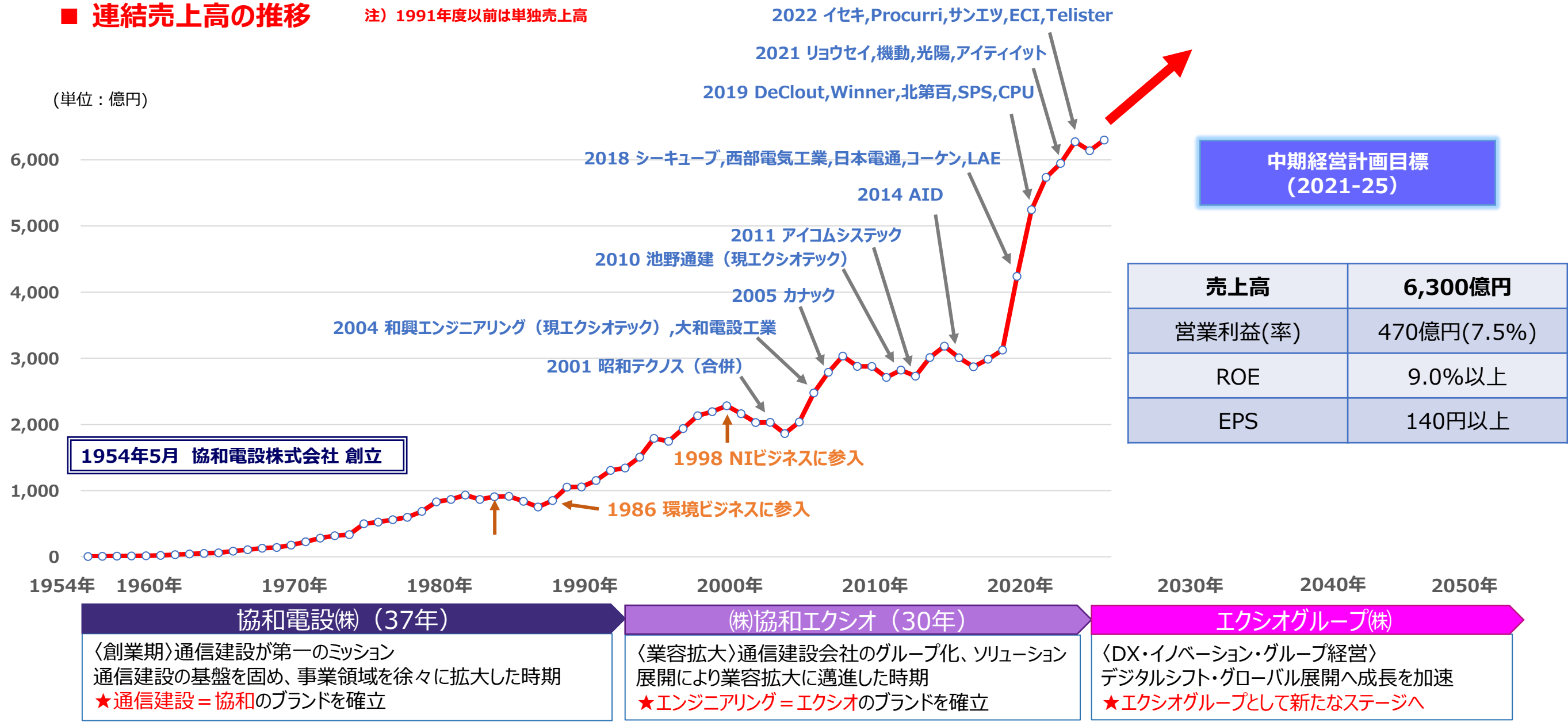
創 立	1954年（昭和29年）5月17日
代 表 者	代表取締役社長 舩橋 哲也
資 本 金	68億88百万円
上場取引所	東証プライム上場（コード 1951） 売買単位 100株
株 式	発行済株式の総数 106,812,419株 株主数 45,458名 （2024年4月1日付の株式分割により、213,624,838株に増加）
連結売上高	6,140億円（2024年3月期）
格 付	株式会社日本格付研究所（JCR） A+（安定的）
連結従業員数	17,056名
本 社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
事 業 所	支店 12 営業所 23
連結子会社	142社
決 算 日	3月31日

1. 会社紹介

(2) 沿革

■ 連結売上高の推移

注) 1991年度以前は単独売上高



1. 会社紹介

(3) パーパスとビジョン

グループパーパス

“つなぐ力”で創れ、未来の“あたりまえ”を。

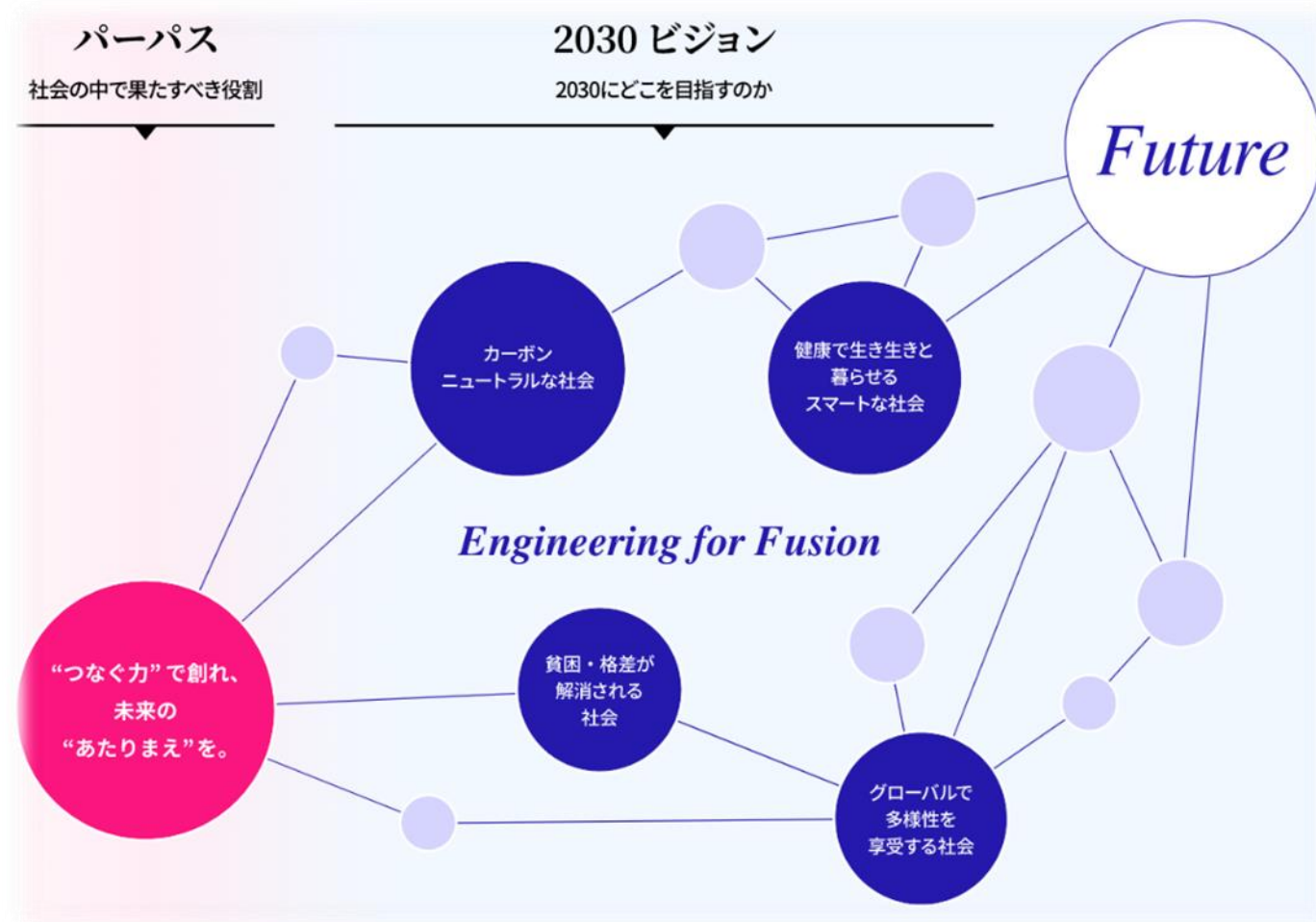
生活を支えるインフラを、地域や世代を超えた全ての人々が当たり前に使えて、自由に幸せを追求する事が出来る。

それこそが、エクシオグループがめざす豊かな世界です。

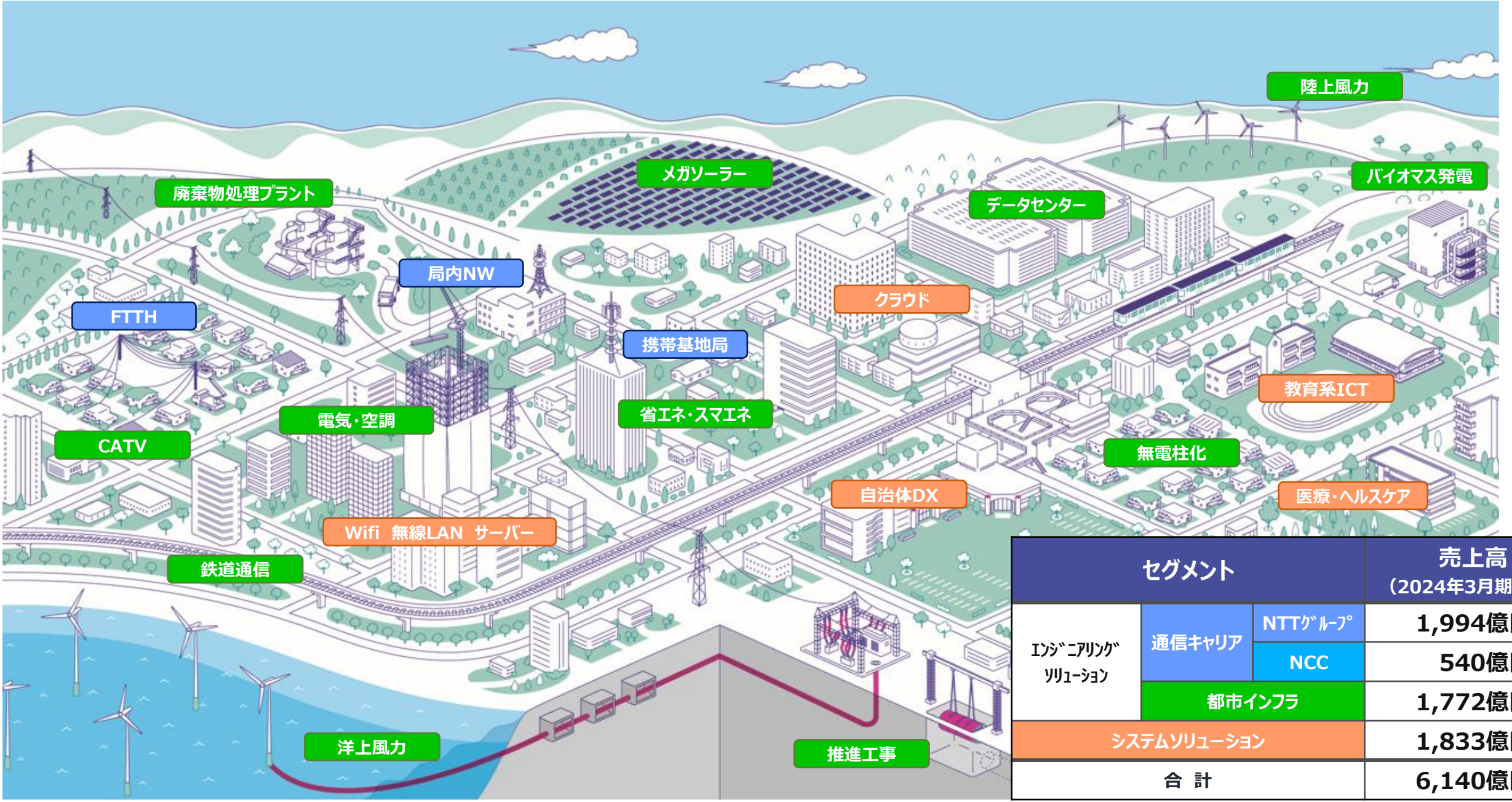
技術の研鑽と、ハードからデジタルに至る知見をつないで、目まぐるしく変化する社会に、パートナーの皆様と、新しい“あたりまえ”を創り続けていきます。

2030ビジョン

Engineering for Fusion
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～



(4) 事業概要



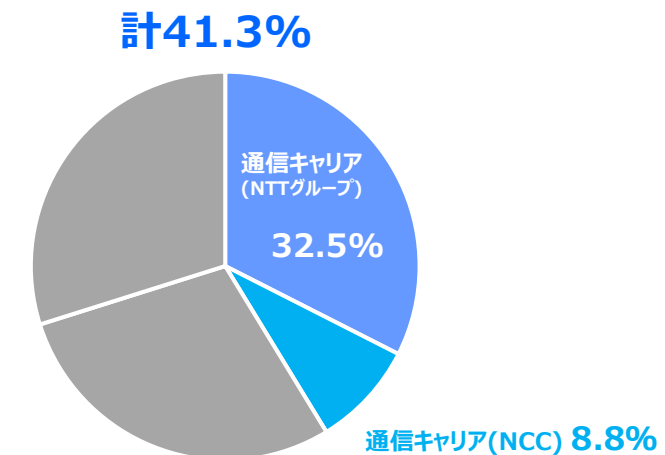
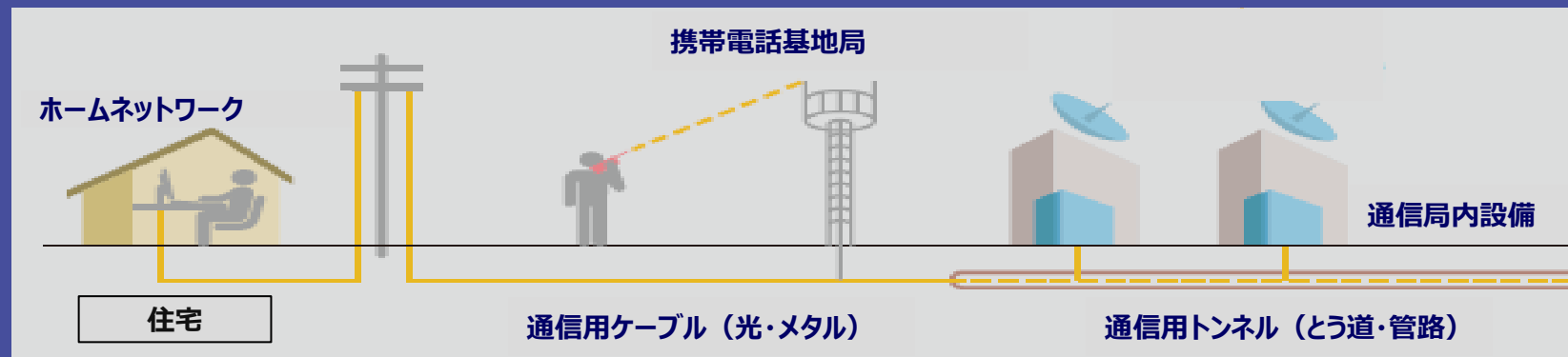
セグメント			売上高 (2024年3月期連結)
エンジニアリング ソリューション	通信キャリア	NTTグループ ^o	1,994億円
		NCC	540億円
	都市インフラ		1,772億円
システムソリューション			1,833億円
合 計			6,140億円

1. 会社紹介

(4) 事業概要－通信キャリア

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ … NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・NCC … KDDI、ソフトバンク、楽天向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



(4) 事業概要－都市インフラ

◆ 通信キャリアで培った通信・電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- ・エネルギー … データセンター、オフィスビル、マンション等の電気・空調工事
太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
廃棄物処理プラント等の建設工事・運転維持管理
- ・公共基盤 … 無電柱化や非開削トンネル工事を行う都市土木工事
自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・施設基盤 … 700MHz帯テレビ受信障害対策工事、ローカル5G設備工事



データセンター



無電柱化工事



非開削トンネル工事



地下設備メンテナンス工事



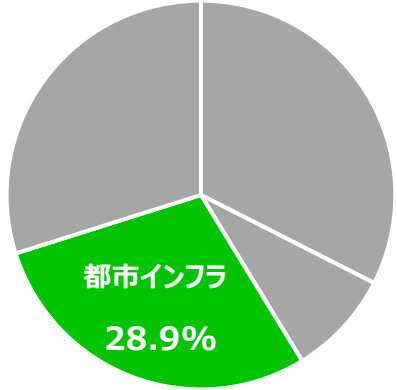
オフィスビルの電気通信工事



太陽光発電



廃棄物処理施設の建設・運営

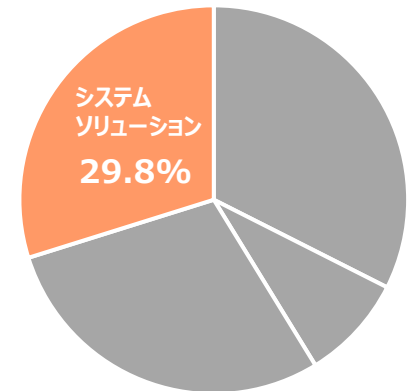


1. 会社紹介

(4) 事業概要－システムソリューション

◆ SI、NI分野でICTを活用したトータルソリューションを提供

- | | | |
|----------------------|---|--|
| ・システムインテグレーション（SI） | … | 公共、通信、製造、金融分野の大規模受託開発の提供
ビジネスプロセス変革や業務支援ソリューションの提供 |
| ・ネットワークインテグレーション（NI） | … | サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、G空間、EMS、
センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供 |
| ・グローバル | … | 海外の各種通信インフラ設備の構築・保守、ネットワーク
ソリューションサービスの提供 |



(5) グループ体制

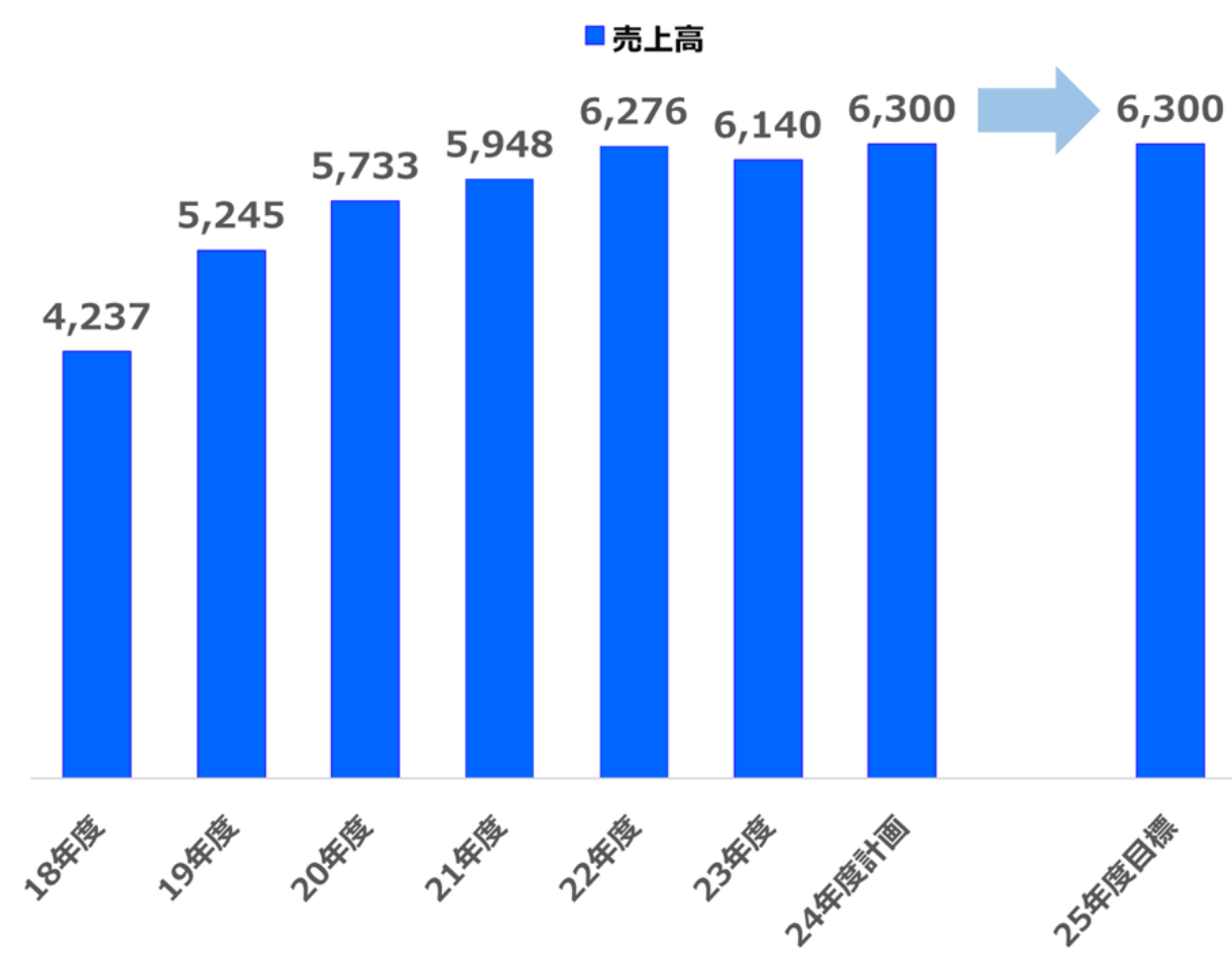
主要子会社（5社）				
シーキューブ 2024年10月 ・シーキューブ愛知 ・シーキューブ三重 ・シーキューブ静岡 の3社を統合 	西部電気工業  西部電気工業株式会社	日本電通  日本電通株式会社 でんわ&コンピュータ	大和電設工業  大和電設工業株式会社	エクシオテック 
その他の連結子会社（137社） 以下は主な会社				
通信 キャリア系	エクシオ・エンジニアリング北海道、エクシオ・エンジニアリング東北、エクシオ・エンジニアリング西日本、新栄通信、サンクレックス カナック、光プログレス、ケイ・テクノス、エクシオモバイル、電盛社、北第百通信電気 2024年4月 エクシオ・エンジニアリング（新栄通信、サンクレックス、エクシオモバイルの3社を統合） 2025年1月予定 エクシオ・エンジニアリング北海道（北第百通信電気を合併）、ケイ・テクノス（DENKEN、西日本電話工事を合併）			
都市 インフラ系	エクシオインフラ、コーケン、リョウセイ、機動建設工業、光陽エンジニアリング、サンエツ イセキ開発工機、大国屋電機工業、永和ビルテック			
システム ソリューション系	EDS、ESM、AID、WHERE、エクシオ・コアイノベーション、サン・プランニング・システムズ、シーピーユー			
グローバル	EXEO GLOBAL、DeClout、Leng Aik Engineering、Winner Engineering（Singapore） MG EXEO NETWORK（Philippines）Procurri（Singapore, United States of America , England）			



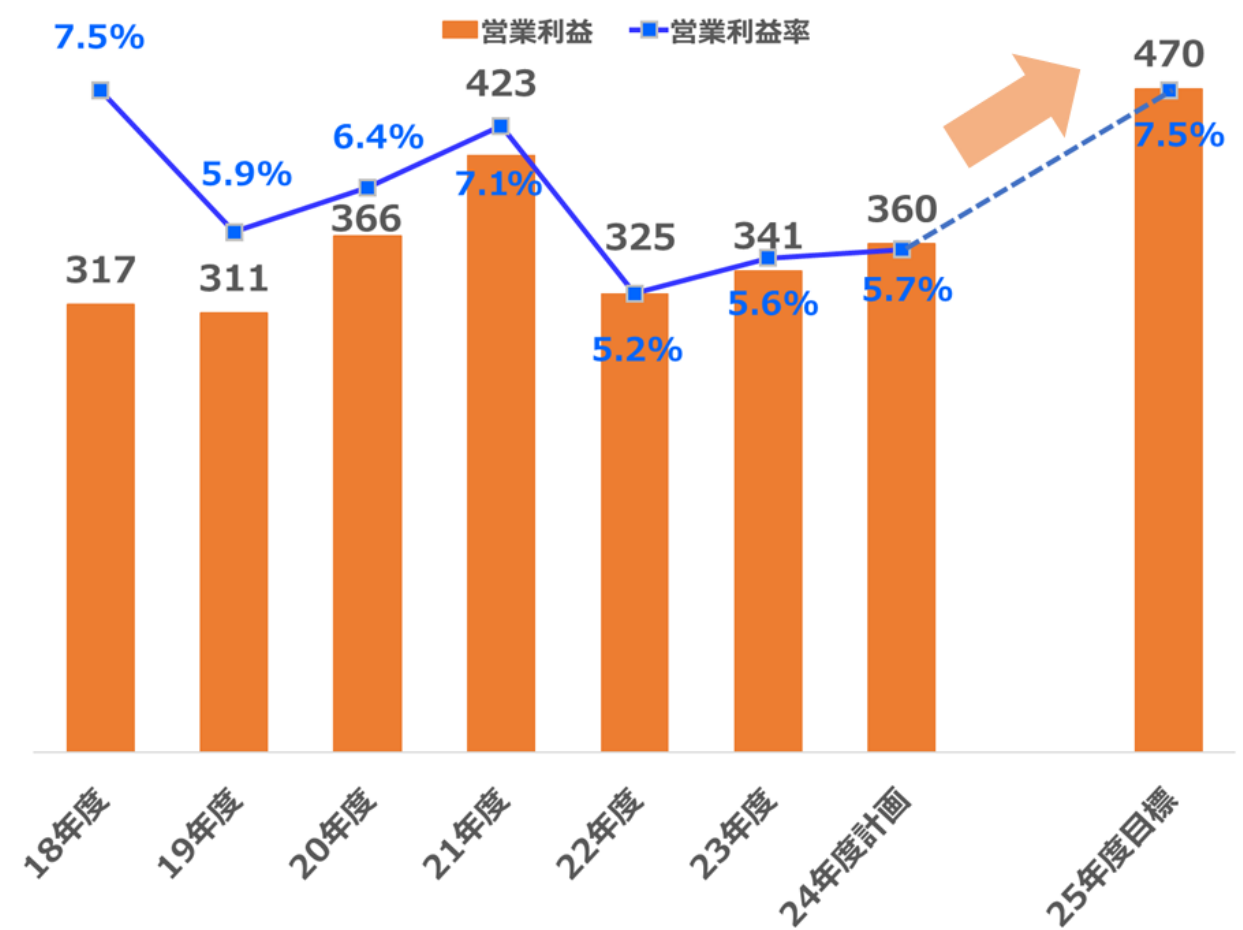
1. 会社紹介

(6) 近年の業績推移

(単位：億円)



(単位：億円)



2. 2030ビジョンと中期経営計画

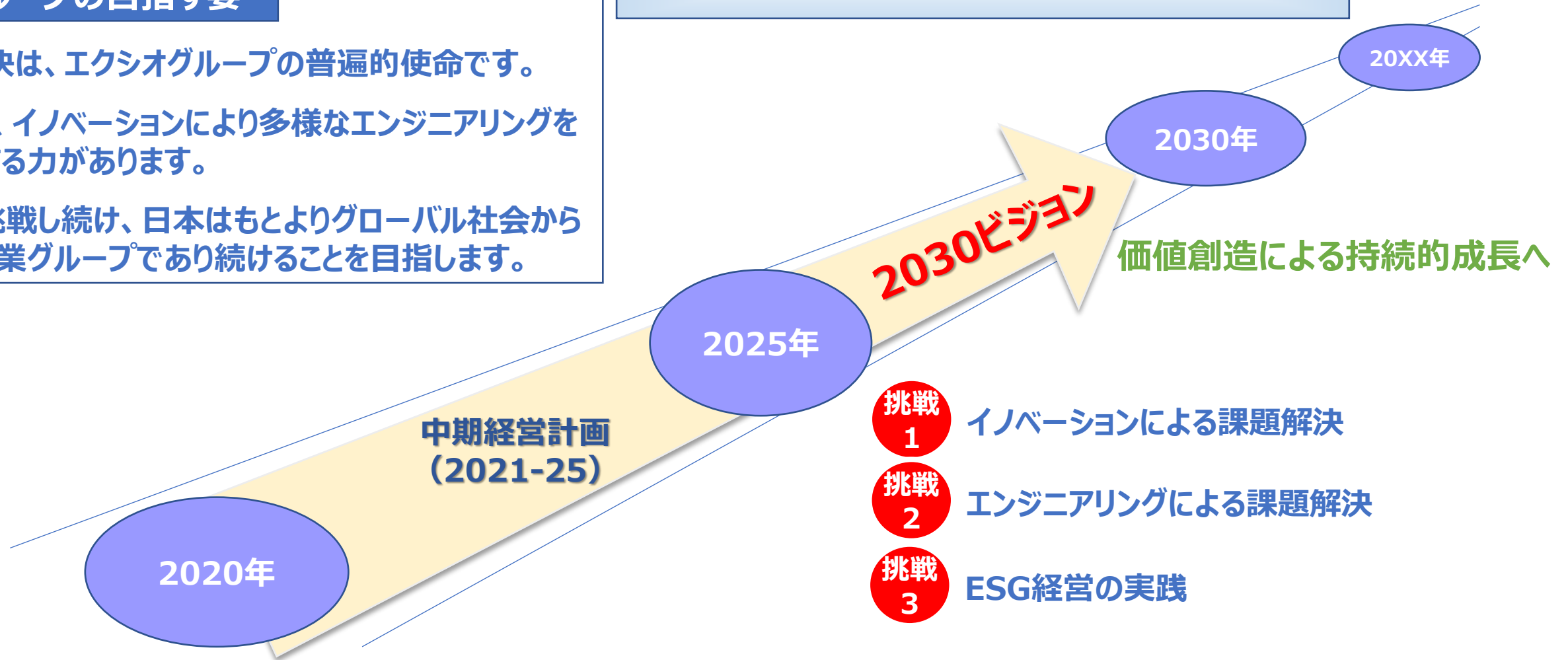
(1) 2030ビジョンについて

エクシオグループの目指す姿

- ・社会課題の解決は、エクシオグループの普遍的使命です。
- ・当グループには、イノベーションにより多様なエンジニアリングをつないで融合する力があります。
- ・わたしたちは、挑戦し続け、日本はもとよりグローバル社会から必要とされる企業グループであり続けることを目指します。

2030ビジョン

Engineering for Fusion
～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～



2. 2030ビジョンと中期経営計画

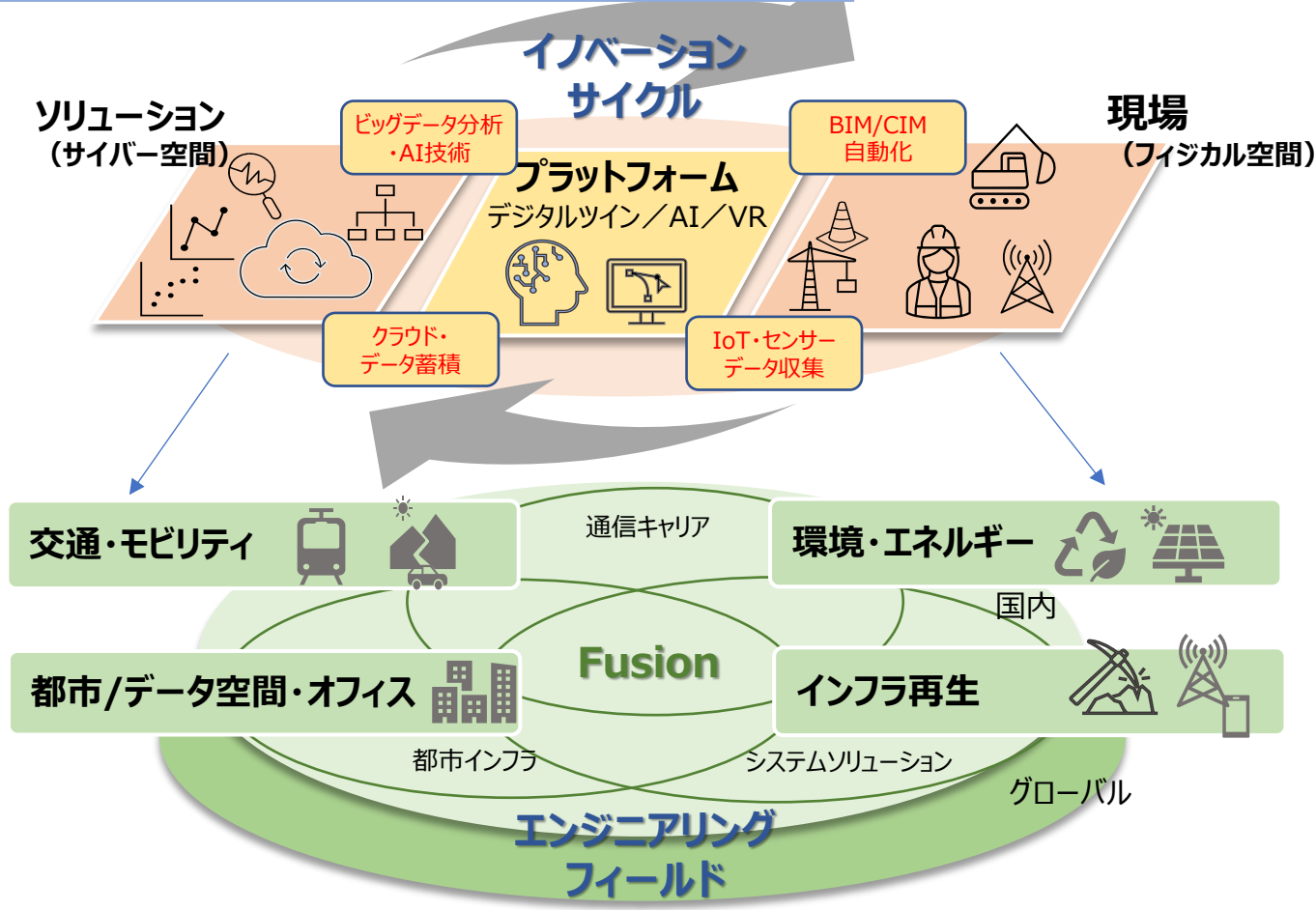
(2) 2030年に向けたエクシオグループの果たす役割

2030年に目指す社会を実現するため、エンジニアリングの現場をソリューションでイノベーションサイクルを循環させ、新しいエンジニアリングフィールドを広げていく。

2030年に目指す社会

- カーボンニュートラルな社会**
 - 資源・エネルギー循環の高度化
 - 再生可能エネルギープラントの充実と排気ガスゼロ化
- 健康で生き生き暮らせるスマート社会**
 - 高度な通信による都市やビル、家庭のスマート化
 - 高齢化社会に寄り添った医療・行政・社会システム
- グローバルで多様性を享受する社会**
 - グローバリゼーションと多様性を意識した働き方改革
 - APACでの通信インフラ/ソリューションの整備
- 貧困・格差が解消される社会**
 - 教育を機会均等に受けられる文教ソリューション
 - 産業格差解消に向けた産業のデジタル化

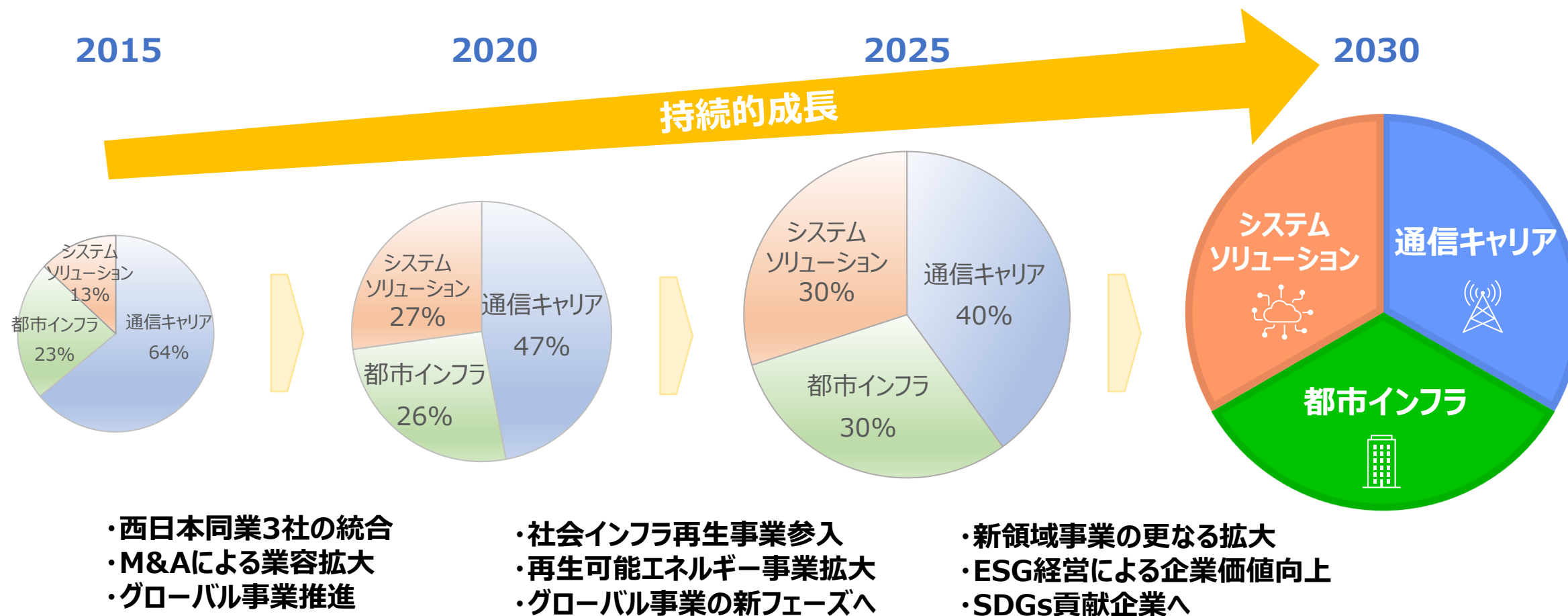
エクシオグループの果たす役割



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(3) 2030年に目指すポートフォリオ

景気や社会情勢に左右されない強固な経営基盤を構築するため、都市インフラおよびシステムソリューション事業を更に拡大し、2030年度の各セグメントの売上高を同等程度にまで成長させる。



2. 2030ビジョンと中期経営計画

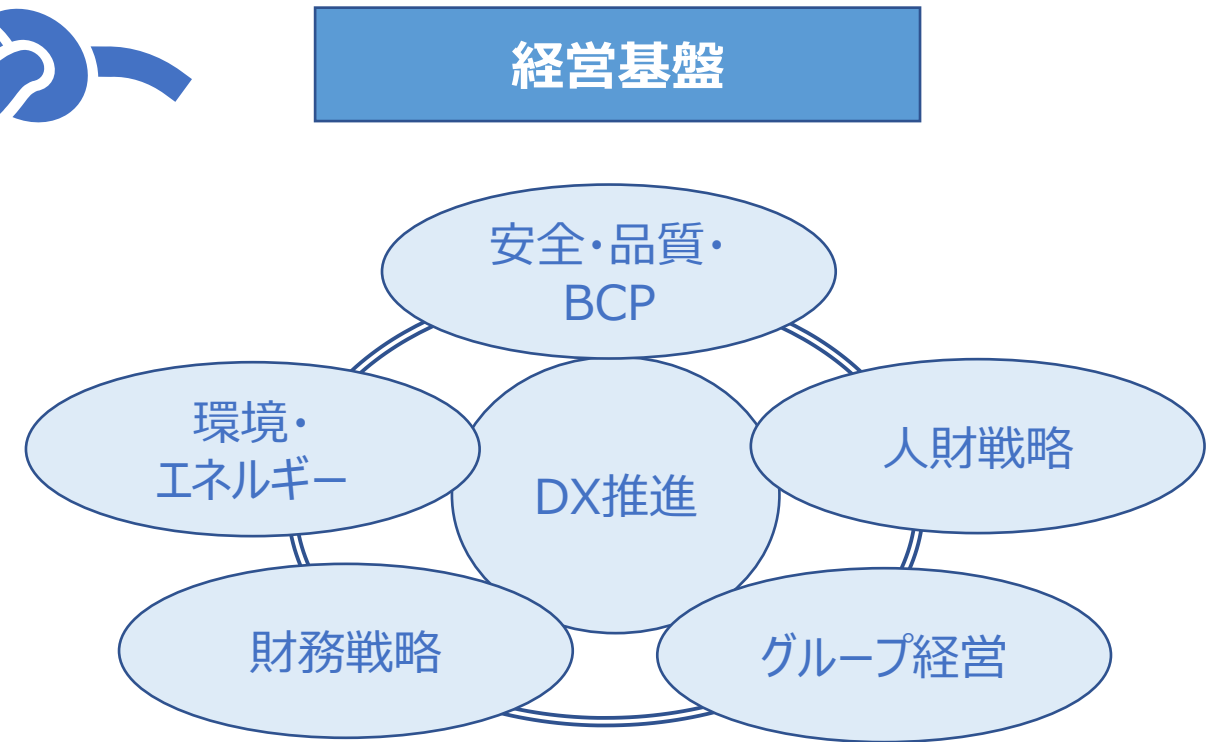
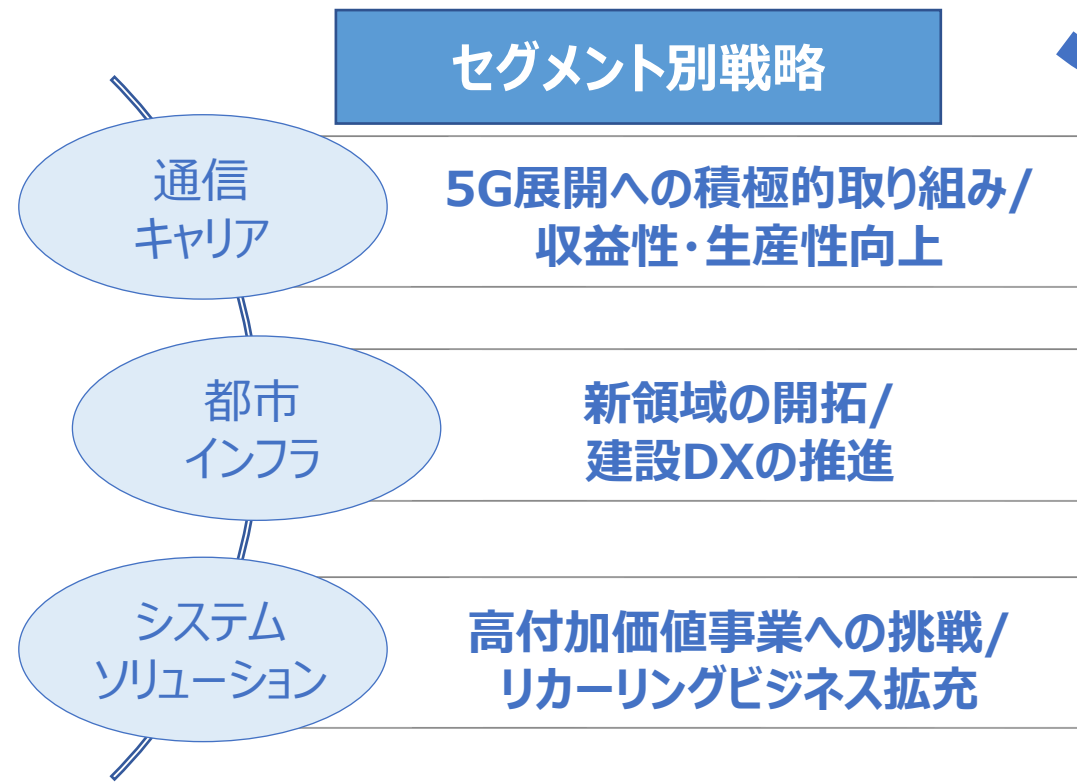
(4) 中期経営計画の目標

2025年度 業績目標

- ・ 売上高 6,300億円
- ・ 営業利益 470億円 (7.5%)

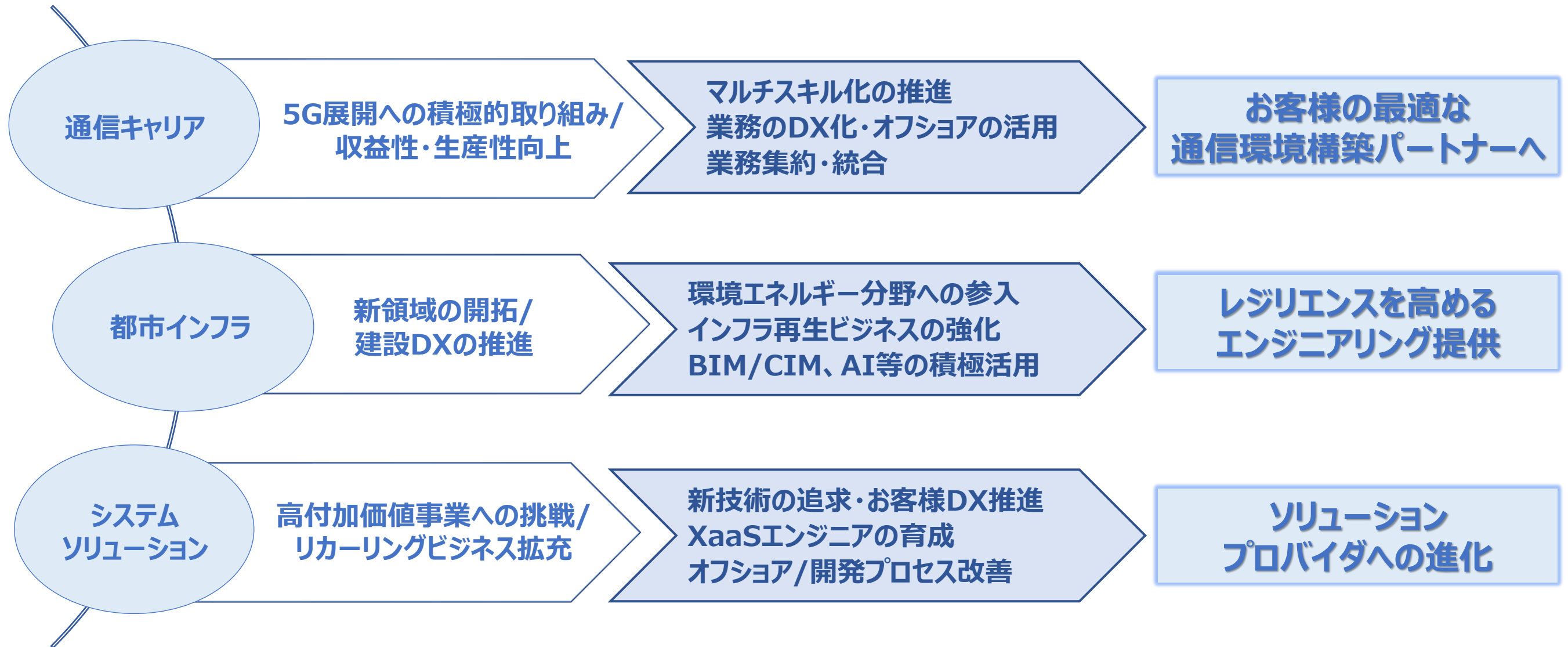
- ・ ROE 9.0%以上
- ・ EPS 140円以上

(2024.4.1株式分割考慮後)



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(5) セグメント別戦略

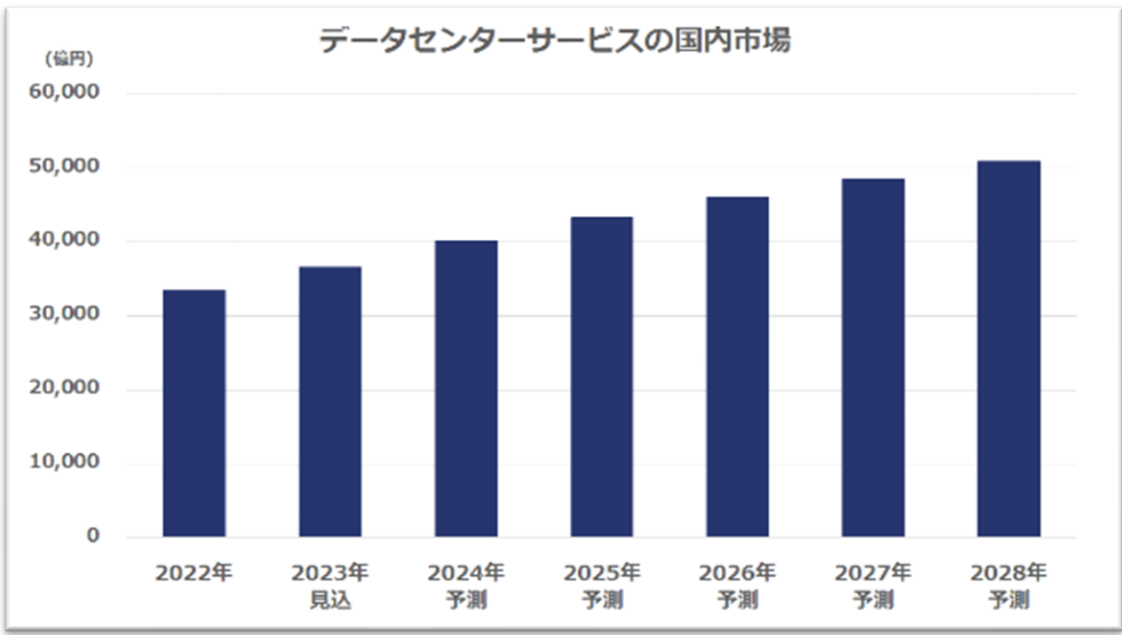


2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取り組み状況（都市インフラ：エネルギー）

大手クラウド事業者の国内データセンターへの投資は拡大
活況のデータセンター市場に対応、リソースシフトを行い、事業領域も順次拡大中

■ 国内データセンター市場予測



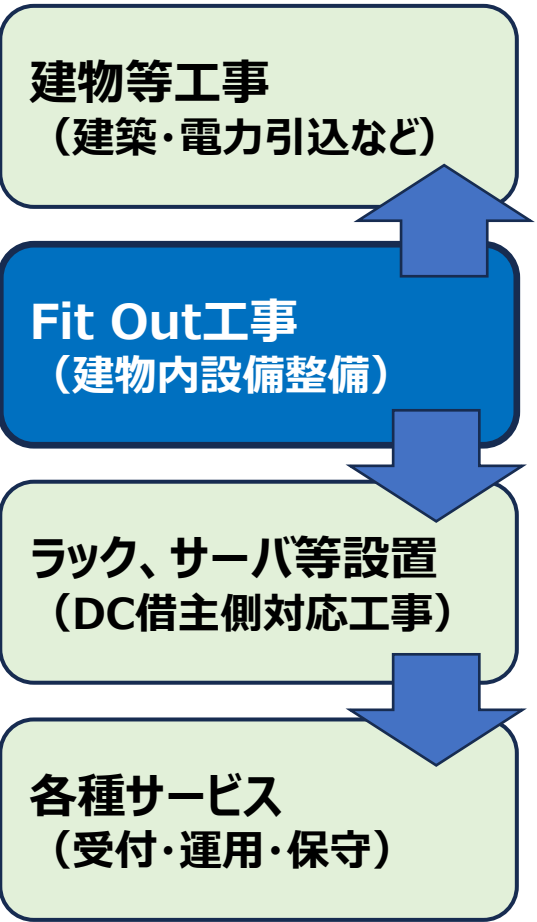
出典：富士キメラ総研「データセンタービジネス市場調査総覧2024」

- ・国内のDC市場規模は、2025年には4兆円を超える予測
- ・米大手事業者も日本において4兆円を超える投資を表明

■ データセンター事業の取り組み



グループ全体でデータセンター等の事業にリソースをシフト



事業領域を拡大中

2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取り組み状況（都市インフラ：エネルギー）

自社発電を行う木質バイオマス発電所（2箇所）が稼働開始
再生可能エネルギー事業を通じて、環境負荷軽減へ貢献

■ あしかがエコパワー（24年3月運転開始）



■ ふるどの論田エコパワー（24年8月運転開始）



- ・近隣の林業・造園等由来の100%国産チップで発電
- ・森林再生/循環、林業活性化、エネルギー地産地消

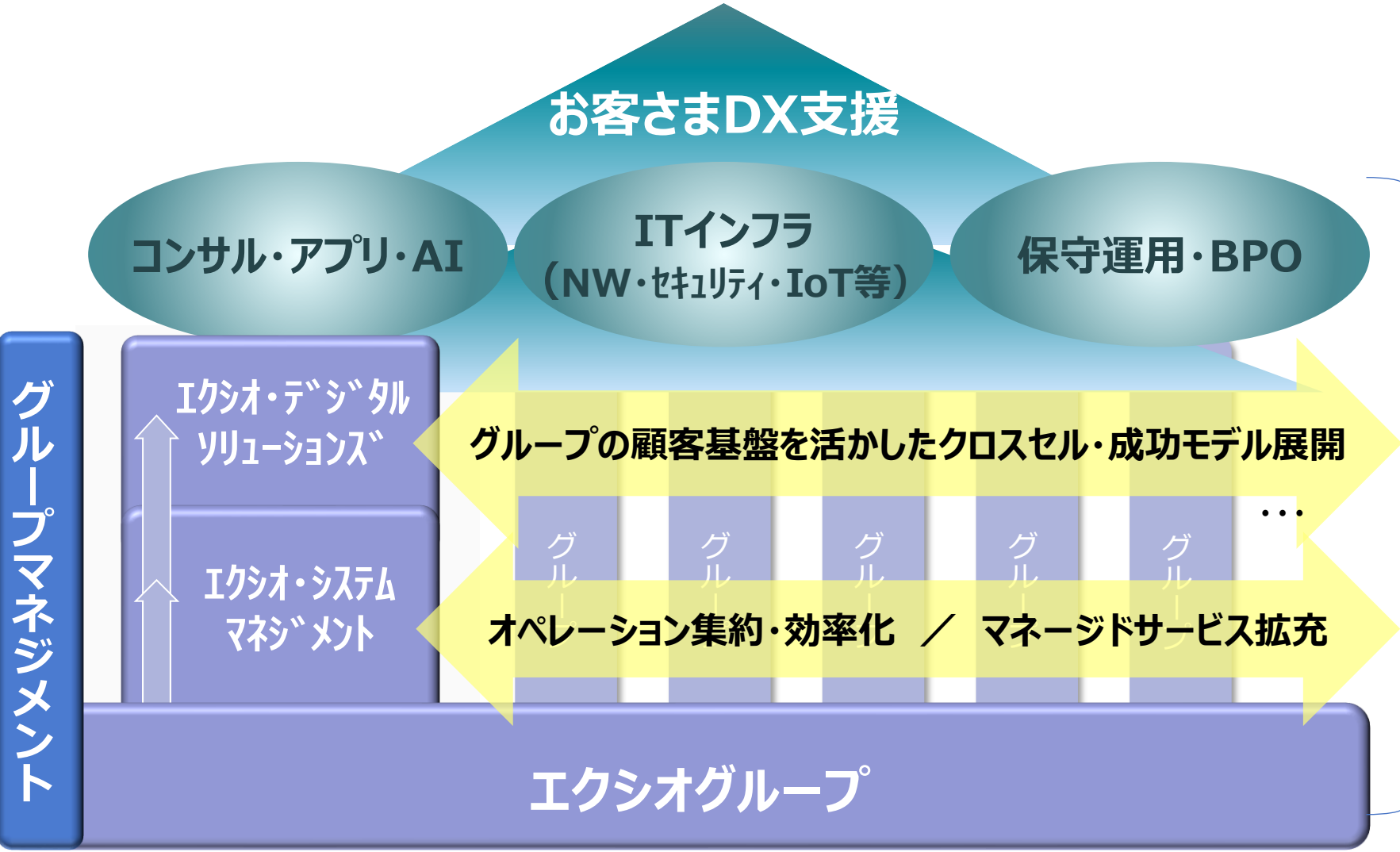
⇒サステナブルな社会の実現に貢献



2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取り組み状況（システムソリューション）

EDS社・ESM社を中核にグループのアセットを最大限活用、お客さまのDX推進をトータルサポート



【代表的な取り組み】

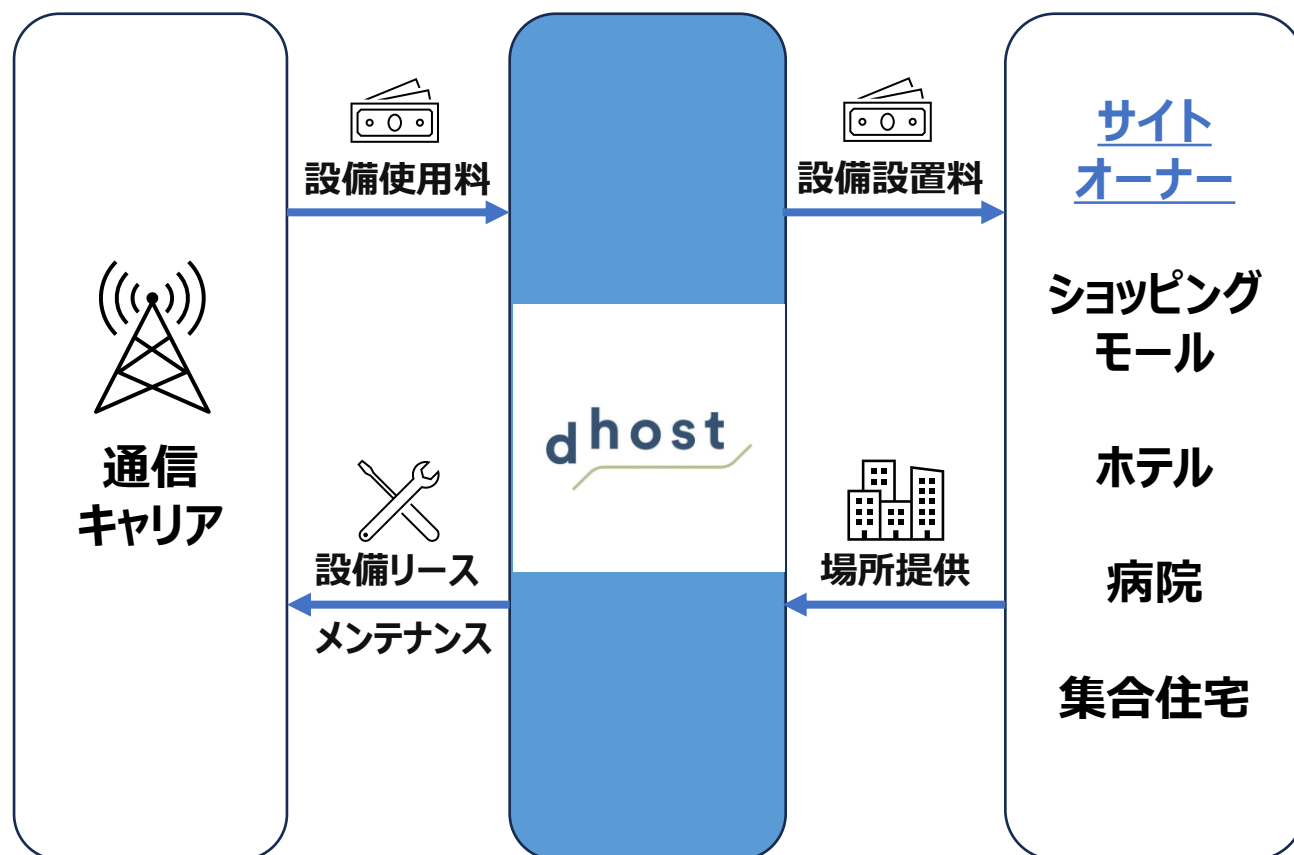
- ・上流コンサルの採用・育成
- ・ローコードなどアジャイル開発
- ・ニアショア・オフショア開発
- ・生成AIなど先進技術の提供
- ・SASEやIOWNなどセキュリティ強化
- ・リファアービッシュなどITライフサイクル提供

2. 2030ビジョンと中期経営計画

(6) 取り組み状況（システムソリューション：グローバル）

インドネシアで屋内通信インフラシェアリング事業を展開する dhost は、NTTグループとパートナーシップを構築し、更なる成長と新たな価値創造へ

■ 事業イメージ



2024年7月

- ・Telkomsel 社から850拠点の屋内通信設備を取得
インドネシアのリーディングカンパニーに。



2024年8月

- ・(株)NTTドコモ・ベンチャーズが運用するファンドから
出資受入れ。国内外でのインフラシェアリング事業
拡大と新たな価値創造をめざす。
- ・NTT東日本グループと基本合意書を締結し、
東南アジアでのパートナーシップ構築を図る。

(1) ESG経営の実践（マテリアリティ）

価値創造	“つなぐエンジニアリング”による社会課題の解決
	●【E】カーボンニュートラルな社会の実現 ●【E】サーキュラーエコノミーへの貢献 ●【S】社会の基礎となるインフラの構築と保全 ●【S】地域コミュニティへの貢献と良好な関係づくり ●【S】建設DXの推進 7エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9産業と技術革新の 基盤をつくろう 12つくる責任 つかう責任
価値創造の 基盤	多様な人財が活躍できる環境づくり
	●【S】価値創造を担う人財の育成と登用 ●【S】働くすべての人の安全と健康 ●【S】ダイバーシティの尊重といきいきと働ける職場づくり ●【S】DXの推進による生産性の向上 4質の高い教育を みんなに 5ジェンダー平等を 実現しよう
	イノベーションを生み出す企業文化の醸成
	●【S】未知への挑戦と技術の研鑽の奨励 ●【S】グループとしてのブランド価値の確立 ●【S】グローバルプレイヤーとしての新たな可能性の開拓 ●【S】多様なパートナーとの連携と協働 8働きがいも 経済成長も 9産業と技術革新の 基盤をつくろう
【E】環境 【S】社会 【G】ガバナンス	公正で透明性の高いガバナンス
	●【G】ガバナンスの健全性・透明性の確保 ●【G】リスクマネジメントとコンプライアンスの徹底 ●【G】ハードと人の両面での情報セキュリティ強化 ●【S】人権の尊重 5ジェンダー平等を 実現しよう 16平和と公正を すべての人に



3. ESG経営

(2) ESG経営の実践（取り組み）

SDGs実現への貢献に向け、気候変動対策への取り組みを加速

■TCFD提言への賛同、TCFDコンソーシアムへの加盟

⇒非財務情報を含めた情報開示を推進



■「サステナビリティ推進室」、「サステナビリティ委員会」の設置

■コーポレートサイト内に「サステナビリティサイト」を開設

■グループ全体で排出する温室効果ガス排出量の算定、削減目標の設定

⇒scope1,2については、2050年までにカーボンニュートラルをめざす。

区分	内容	排出量(千t-CO ²) ※1	2030年度削減目標 ※2
Scope 1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	60.4	▲43.9% 2050年度カーボンニュートラル
Scope 2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	25.9	
Scope 3	サプライチェーンからの間接排出 (事業者の活動に関連する他社の排出)	1,757.0	▲25%

※1：排出量は2020年度数値 ※2：2020年度比

3. ESG経営

(3) ESG経営の実践（外部評価）

社会・ガバナンス関係の取り組みも継続実施、外部評価も獲得

■ CDPから、気候変動に対する取り組みや情報開示が優れた企業として、「A-」評価を認定

CDP は、ロンドンに本部を置く環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織（NGO）で、企業の取り組みを8段階で評価
「A-」評価は上位から2 番目



■ 温室効果ガス削減目標でSBT認定を取得

2030年の温室効果ガス排出量削減目標が、パリ協定が定める目標の水準に沿った科学的根拠に基づいた目標（Science Based Targets）
であるとして、国際機関「SBTイニシアティブ（SBTi）」より認定を取得



■ 「D&I Award 2023」最上位「Best Workplace for Diversity&Inclusion」を受賞

Job rainbowが策定した、企業の多様性推進を可視化する指標「ダイバーシティスコア」により認定



■ 「PRIDE指標2024」にてシルバー認定を取得

任意団体「work with Pride」が策定した、職場におけるLGBTQなどのセクシャル・マイノリティに関する取り組み評価指標

work with Pride

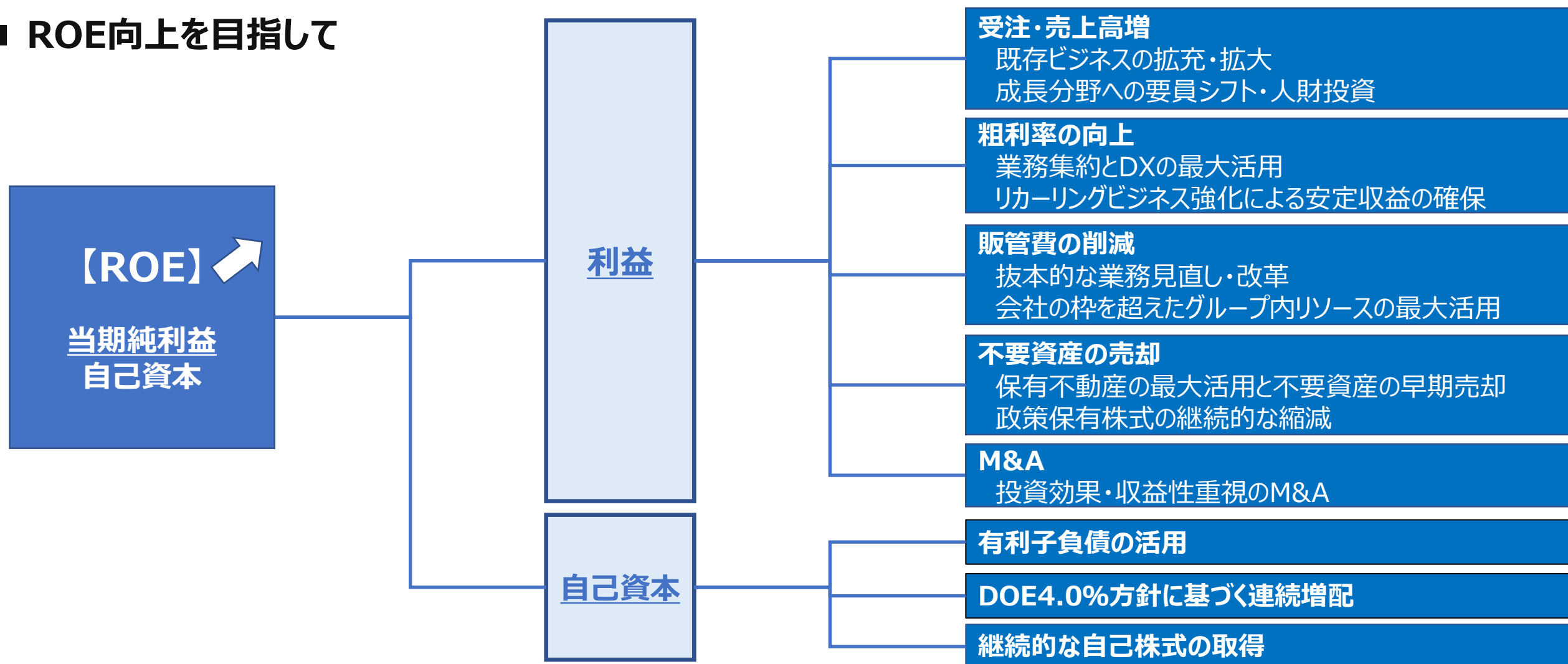


4. 企業価値の向上に向けて

(1) ROEの向上

中期経営計画で掲げるROE 9.0%以上に向けて持続的な成長を追求
資本コストを上回る成長を続けることで企業価値向上につなげる

■ ROE向上を目指して



4. 企業価値の向上に向けて

(2) キャッシュアロケーション方針

創出されたキャッシュを成長投資と株主還元へ適切に配分し、企業価値向上を目指す

方針

- ・着実な成長によるキャッシュフロー創出
- ・政策保有株式や不要不動産の売却
- ・財務健全性を維持しつつ有利子負債を活用

【実績】

EBITDA

- ・中期目標の64%の進捗（3年累計）
- ・24年度以降、増益・成長を目指す

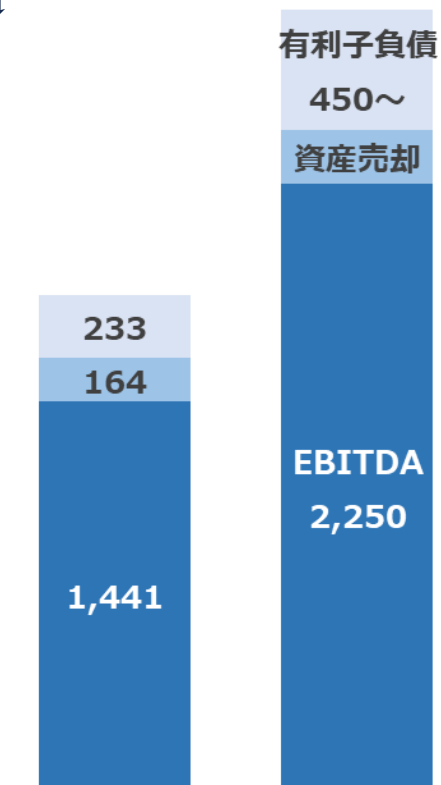
資産売却

- ・政策保有株式140億売却（3年累計）
- ・中長期的な不動産戦略を検討開始

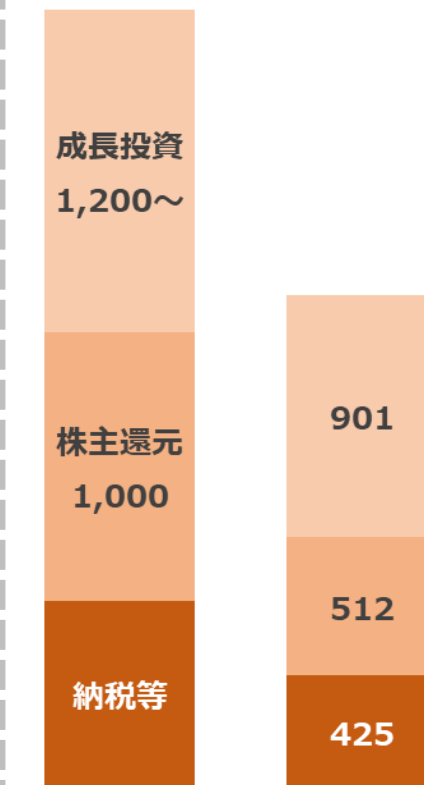
有利子負債

- ・有利子負債120億減少（23年度）

キャッシュ創出



キャッシュ配分



方針

- ・成長基盤構築とM&Aによる投資継続
- ・人財/R&Dにキャッシュを積極配分
- ・連続増配と自己株取得の継続

【実績】

成長投資

- ・中期目標の75%の進捗（3年累計）
- ・設備投資：500億強、M&A：350億強
- ・人財育成：年平均約10億（研修等）
- ・R&D/DX：売上の1%以上を投下

株主還元

- ・DOE基準を4.0%に引き上げ（23年度）
- ・資本効率向上へ自己株取得も継続

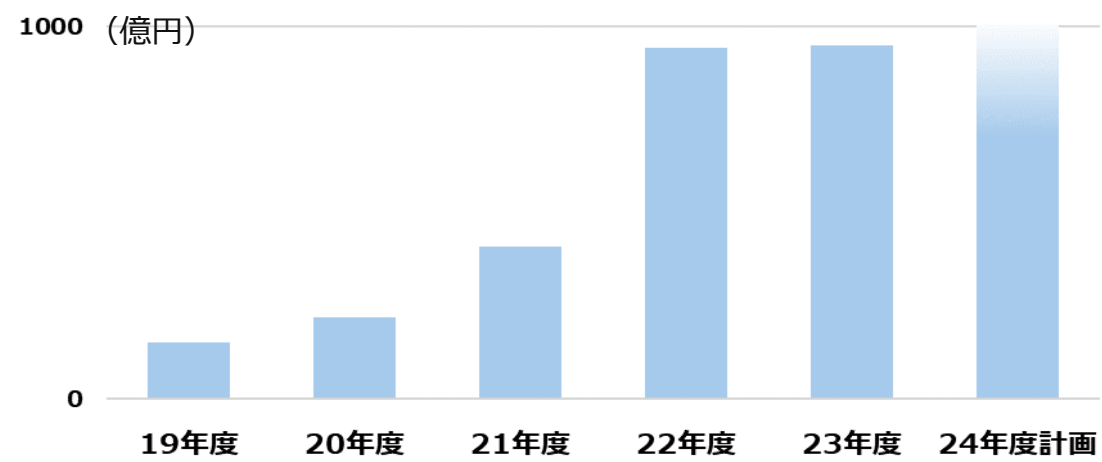
4. 企業価値の向上に向けて

(3) M&Aの取り組み

積極的なM&Aを継続、規模の拡大とともにさらなる収益性の向上も図る

■ M&Aした子会社の売上高

※2018年度以降グループ入りした子会社の集計。ただし西日本3社グループを除く。



■ 直近の主な投資等の実績

会社名	領域
北日本通信(株)	都市インフラ
(株)フィックスポイント【資本・業務提携】	システムソリューション
X1Studio(株)【資本・業務提携】	都市インフラ
(株)第一ヒューテック【業務提携】	都市インフラ
(株)ドーン【業務提携】	システムソリューション
(株)インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン	システムソリューション

■ M&A方針

- ・事業ポートフォリオ拡充に向けた戦略的M&Aの実施
- ・投資効果、収益性を意識した投資先の選別
- ・政策保有株式の売却による資産ポートフォリオの再構築

事業規模・領域拡大による市場シェアの拡大

- ・大型案件対応力の強化
- ・施工エリアの獲得

- ・機会損失解消、新規案件対応
- ・人財および開発拠点の獲得

新技術・専門技術による高付加価値領域の強化

- ・新規ビジネスの立ち上げ
- ・特許・工法などの付加価値獲得

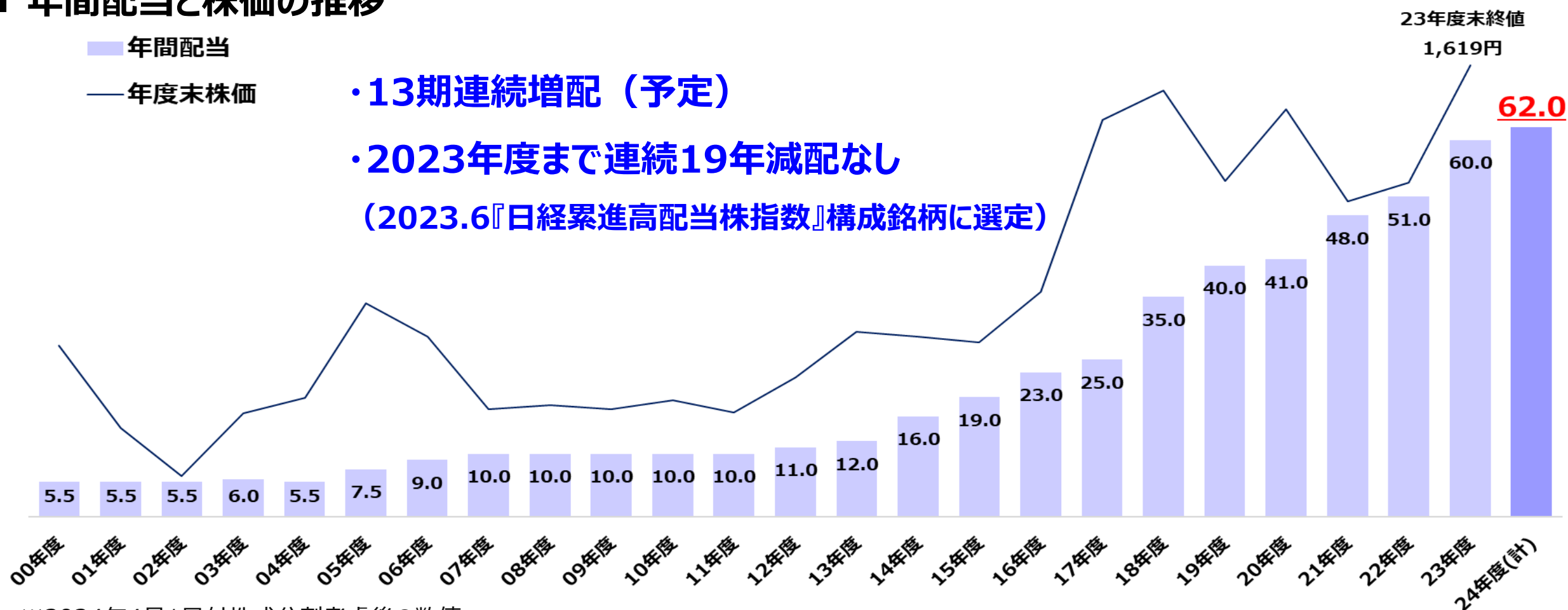
- ・新たな商材やソリューションの開発
- ・AI等の新技術ノウハウの取得

4. 企業価値の向上に向けて

(4) 株主還元

23年度より配当方針をDOE4.0%基準に変更、**13期連続増配**予定（中間31円・年間62円）
自己株式取得も継続的・機動的に実施。併せて、11月末に自己株式500万株を消却
24年4月に1：2での株式分割を実施済

■ 年間配当と株価の推移



※2024年4月1日付株式分割考慮後の数値

能登半島地震や台風10号などの自然災害に対し、グループ総力で復興支援を推進

■ 令和6年能登半島地震



■ 台風10号（鹿児島）



■ 公式Youtubeチャンネル



■ Web CM第一弾 「エクシオ調査編」

■ Web CM第二弾 「つながらない〇〇編」



■ Web CM第三弾 「ラップバトル編」 NEW



https://www.youtube.com/channel/UC6GLfj5BDPEHUvW1Zeelv_Q

チャンネル登録よろしくお願いします！



Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

